

***** ハイ-メックス 6851 *****

1. 概要

ソフトフィールペイントのHei-Mex6851は、硬質プラスチックにソフトで温かみのあるイメージを与えてくれる水性ウレタン塗料です。安価なプラスチック素材に高級感を持たせることが可能です。視覚的効果だけでなく、塗膜の触感にも特徴がある為、最終製品が直接使用者に触れる箇所への応用にも適しています。また、様々な色合いや艶消しのパターンをデザインできるのも大きな特徴です。

2. 基本特性

項 目	数 値	備 考	
製 品 色	A液	乳白色液体	水性ポリウレタン樹脂
	B液	透明液体	イソシアネート成分
塗 膜	-	半透明(艶消し)	ポリウレタン樹脂
混 合 比	A:B	100:20	重量比
粘 度 (岩田カップNK-2)	秒	10~30	JIS K 5600-2 6101Aの粘度
比 重	A液	1.07	JIS K 5600-2
	B液	1.08	JIS K 5600-2
不 揮 発 分	%	40	社内法
溶 剤 成 分	%	8.3	社内法
所 要 量	kg/m ²	0.06~0.13	塗膜約30 μm
触 感	-	スエードタッチ	社内法
ポットライフ	時間	6~8	社内法(25℃)

3. 基本物性

項 目	数 値	備 考	
塗膜硬度	鉛筆硬度	HB	JIS K 5600-5-4
塗膜の光沢	60°	15%以下	JIS K 5600-4-7
耐水性	25℃×4日	塗膜外観と密着性の変化なし	浸漬試験。基材：PVC
引張強さ	MPa	25	JIS K 7113
破断時伸び	%	56	(100mm/min)
耐候性 (キセノンランプ)	1000時間	光沢保持率：90%	JIS K 5600-7-7準拠 水の散布なし
		変色性(ΔE)：3.5以下	
		密着性(PVC)：100/100	

耐薬品性 (点滴法)	1分間	アセトン/トルエン/酢酸ブチル/ エタノール 2/2/1/1	耐溶剤性試験 JIS K 5600-6-1準拠 評価基準 0:無変化 1:痕跡有 2:痕跡有 (爪で擦って剥れる) 3:膨潤 4:溶解
	10分間	アセトン/トルエン/酢酸ブチル/ エタノール 2/2/1/1	
密着性	ABS	◎(100/100)	旧 JIS K 5400 基盤目試験 (カット間隔1.5mm) 試験回数:繰り返し3回
	PP・PE	×(0/100)	
	PVC	◎(100/100)	
	PMMA	◎(100/100)	
	PC	◎(100/100)	
	PUR	◎(100/100)	

この物性値は弊社の測定による代表値で、規格値ではありません。
製品の物性は形状や成形条件によって異なりますので、充分ご確認の上ご使用ください。

4. 必要設備概要

- ・スプレー機や水性塗料専用の刷毛、粘度カップなどの塗装道具

5. 使用方法

6851Aと6851Bを100:20(重量比)で計量し、6851Bの塊が残らないようによく混合してください。
被塗物の表面に刷毛塗りまたはスプレー塗布を行います。塗布後、任意の温度/時間で乾燥させて仕上げます。スプレー塗布の際に粘度が高い場合には、水道水で希釈し**10～30秒**程度に調節してください。使用するスプレー機や施工環境により、最適な粘度は異なります。
※着色有りの製品は、顔料が沈降するため、ご使用前日に一度攪拌してください。

6. 希釈量の目安

製品粘度と水道水での希釈の目安は、右表のようになります。製品の粘度が40秒の時、水道水を4wt%程添加し、良く攪拌するとスプレーに適した粘度(**15～30秒**)になります。希釈率は、色相及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。

	水の添加量の目安 (wt%)		
	12	7	4
粘度 (秒)	60	50	40

※希釈する際は、水道水を製品に直接注がずに、使用する分を小分けして希釈してください。

7. 増粘剤の添加量の目安

添加量の目安は、次のようになります。本製品(岩田カップで粘度が15~40秒位の場合)に増粘剤を1~5wt%添加すると刷毛塗りし易い粘度になります。増粘剤を添加後、ガラス棒などで5~6分間良く攪拌してください。増粘剤が攪拌不良であると粘度が増加しません。

※増粘剤を添加する際は、製品に直接注がずに小分けしたものでご使用になる条件に合う粘度を調べてから行ってください。また、増粘剤の添加は、ご使用前日に行い攪拌時に巻き込んだ気泡を無くしてからご使用ください。

8. 乾燥条件

塗装後、換気している所でセッティングを10分位行い、任意の温度/時間で乾燥させます。乾燥時間は、塗膜の厚みや環境温度、環境湿度により調節が必要です。乾燥時間の目安としては、80℃×30分の条件を参考にしてください

本製品は、2液型のため塗膜が完全に硬化するには、5日位掛かります。

※乾燥時間が不十分で塗膜が未硬化であると本来の性能を示すことが出来ません。

9. 取扱い上の注意

6851Aは、水溶性です。冬場凍結すると含有水分が分離して粘度が変化したり、凝集物が発生したりします。凍結に注意して、5~35℃での保管をお願いします。また、一度開封したものを再度保管すると、粘度が高くなる場合があります。粘度の調節は、水道水を適量添加し良く混ぜて行ってください。

6851Bは、イソシアネート成分のため空気や水に曝されないように注意してください。

10. 成形上の注意

- (1) 細かな箇所から仕上げて、一度で肉厚確保を狙わないことがポイントです。
- (2) 塗膜乾燥中は、塵やゴミが堆積しないように注意してください。

11. 安全衛生上の注意

- (1) 作業所内に局所排気装置を設けるとともに換気には十分注意して下さい。
- (2) 原料が直接手や皮膚に触れないよう注意し、接触した場合は直ちに石鹼水で洗い落して下さい。
- (3) 長時間接触したままで放置するとかぶれることがあります。
- (4) 原料が眼に入った場合は速やかに流水で約15分間洗眼し、眼科医の診察を受けて下さい。

12. 消防法危険物分類

非危険物